

甲南大学 地域連携センター

KOREC

今を変えれば、
新しい明日が
待っている。



KONAN University
Regional Liaison Center

甲南大学 地域連携センター(KOREC)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 12号館1階
TEL : 078-435-2276 FAX : 078-435-2302
e-mail : korec@ml.konan-u.ac.jp

地域連携センターの詳細は下記よりご確認ください。
<https://www.konan-u.ac.jp/korec/>

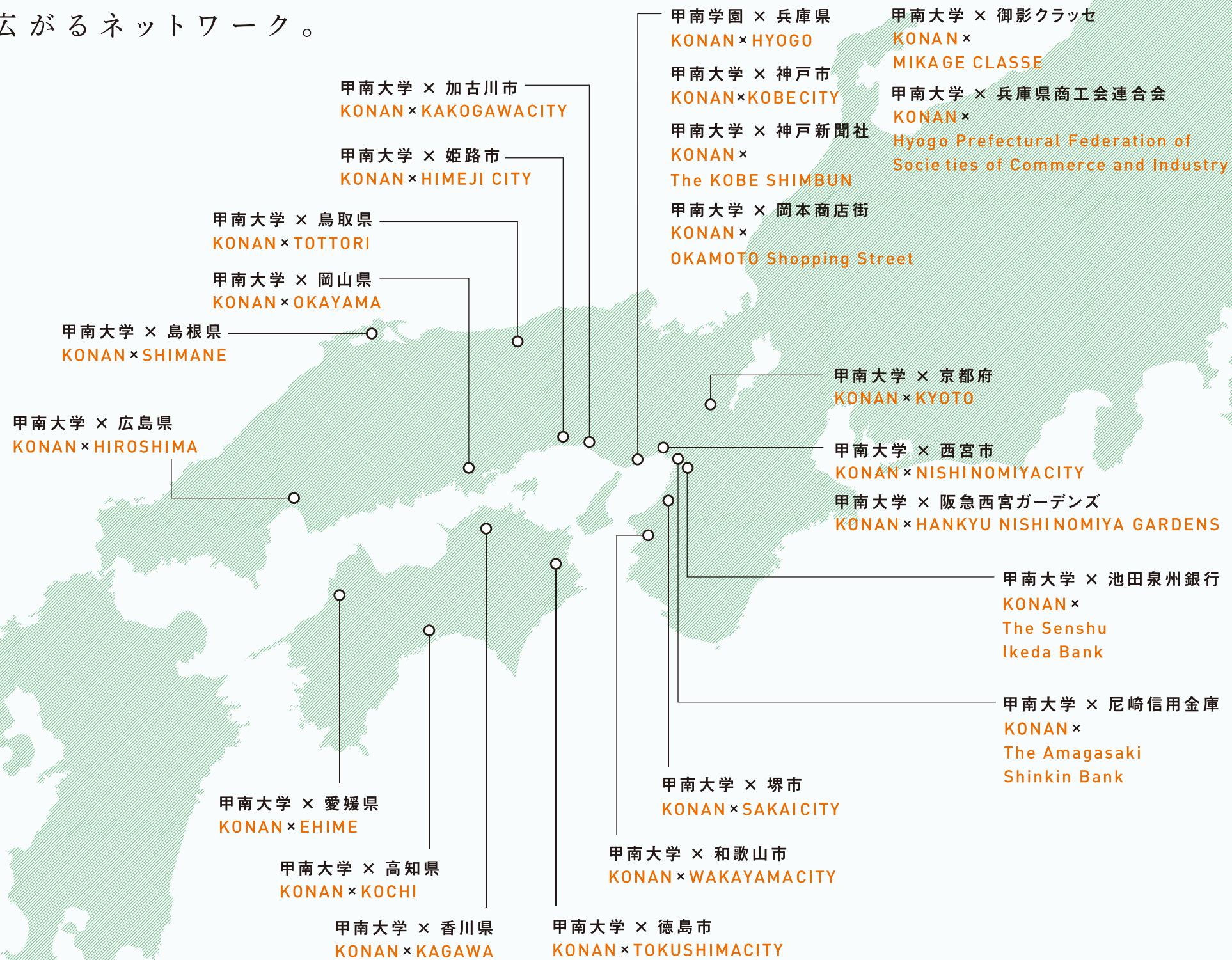
学生プロジェクト・ボランティアの情報をGETしよう。
メンバーリストの登録はこちら! →



WHAT IS KOREC

KONAN University Regional Liaison Center

つながる絆、
広がるネットワーク。



包括連携・地域連携・就職支援協定等の締結先

人間的な成長を実現する、
そのチャンスとなる地域連携。

地域連携センター（KOREC）は、2011年の開設以来、おもにボランティア活動の推進や教育プログラムの開発に取り組んできました。地域連携センターがこうした活動をおこなっている理由のひとつには、大学というものが知的プラットフォームとなることで地域の産業やコミュニティの発展を支援できるという狙いがあります。さらにもうひとつの理由は、学生の学びとダイレクトに関係することですが、地域連携の現場が「人物教育のクオリティ・リーダーをめざす」という教育ビジョンを実現するための舞台になると考えていることです。大学における学部学科での学びにより、専門的な知識や技能を身につけることができますが、より幅広い常識や素養を身につけてこそ社会人として認められるのです。学生のみさんには、地域連携センターを通じてボランティア活動や地方自治体・企業との連携プロジェクトに参加することで、ぜひともそうした社会人として必要な能力を身につけてほしいと思います。

About

VOLUNTEER ACTIVITIES

ボランティア活動について

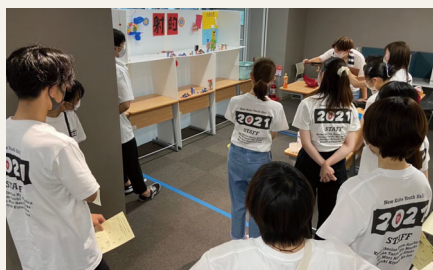
きみの興味や関心にあわせて、 ボランティアにも多彩な舞台がある

甲南大学と地域をむすぶ窓口でもある地域連携センターには、さまざまなボランティア情報が集まります。いままでにボランティア経験がある人もない人も、だれでも気軽に、一人ひとりの関心や興味にあわせたボランティア活動に参加できます。

01 PICK UP! 神戸市青少年会館 移転オープニングイベント



経営学部 経営学科 1年生
橋 美奈さん



他大学生との交流を通じて、イベント企画の楽しさを実感。

神戸市青少年会館の「移転オープニングイベント」の企画・運営にスタッフとして参加しました。阪神間の大学に通う13名の学生が集まり、7月18日の本番に向けて1ヶ月ほど前から準備がスタート。何度もミーティングを重ねて全員で企画を立てたり、オリジナルTシャツをデザインしたり。イベント当日は

お店の運営も担当しました。初めて出会う人たちと意見を出し合い、様々なコミュニケーションが取れたことがとても楽しく、いい経験になりました。今回、企画が楽しいと感じたので、将来は企画に携わる仕事につきたいという思いも生まれました。他のボランティアにも挑戦していきたいです。

02 PICK UP! しあわせの村×YMCA森の学校



法学部 法学科 3年生
ニバ チェルシーさん



キャンプカウンセラーとして子どもたちの学びや気づきをサポート。

3年生になって授業も落ち着いてきたこと、また、授業で少年犯罪、児童虐待といったテーマにふれ、自分にも何かできないかと思ったことが、ボランティアに参加したきっかけです。「森の学校」は、しあわせの村内の自然豊かなキャンプ場でキャンプや遊びの体験を通して、小中学生が仲間の大切

さに気づき、協調性や主体的に行動する力を養うことが目的です。私はキャンプカウンセラーとして子どもたちをサポートするなかで、指導者としての立場を知ることができました。このボランティアを通じて、福祉分野などに関わる仕事にも興味が出てきました。

※学年は撮影時のものです。

03 PICK UP! チーム・ニュービー・サンタ

地域のニーズを知り、思いに応える。

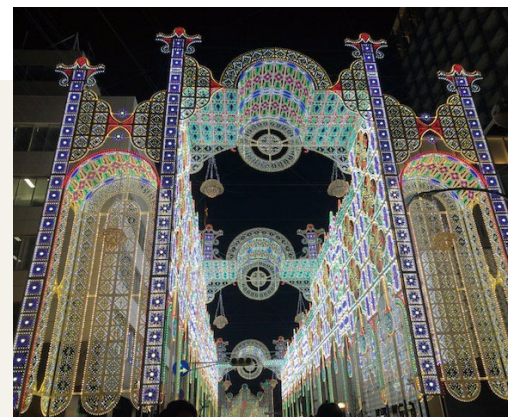
「クリスマス会にサンタさんに来てほしい」—そんな地域のニーズに応えるため、東灘区社会福祉協議会と連携し、甲南大生がサンタクロースになりきって東灘区内の児童館を訪問。子どもたちに夢を届けるとともに、世代間交流や地域とのつながりを持つきっかけとなる活動となりました。



04 PICK UP! 神戸ルミナリエ

明かりを灯し続けるための募金活動で、 人の温かさに触れる。

阪神・淡路大震災をきっかけに始まった神戸ルミナリエでは、明かりを灯し続けるために1人100円募金活動を行っており、甲南大生も呼びかけ活動に参加しています。訪れた方々から時には励ましの言葉も受け、神戸ルミナリエ開催を支える人々の想いを感じながら活動することができます。



05 PICK UP! 岡本一斉クリーン作戦

街の美観づくりを通じて、 地域の人々とコミュニケーション。

甲南大学では学生自治会が中心となり、地域の方々と共同で、岡本地域の清掃活動をおこなっています。地域の方々との世代を超えたコミュニケーションを通じて、人と人との信頼関係づくりのたいせつさ、日頃何気なく通っている街や通りにも暮らす人々の深い想いや愛着があることに気づかされ、地域とのつながりを再確認できます。



ボランティア活動実績（例）

主催団体等	イベント・プログラム名	分類
はぐねっと♡ひがしなだ	小学生の学習支援	子ども・青少年
NPO法人こうべユースネット	中学生の学習支援やイベント運営	子ども・青少年
ふかえ大敬老会実行委員会	「ふかえ大敬老会」運営	福祉
兵庫県学生献血推進協議会	献血推進活動	保険・医療
NPO法人ひがしなだコミュニティメディア	インターネット放送局「メディアろっこう」	地域社会
一般社団法人ユメ・フルサト	「こども夢の商店街」こどもサポーター	地域社会
多文化共生センターひょうご	「多文化フェスティバル深江」運営	教育・文化スポーツ
NPO法人DeepPeople	「関西SDGsユースアクション」運営	教育・文化スポーツ
117KOBEぼうさい委員会	117KOBEぼうさい委員会メンバー	教育・文化スポーツ
フォレスター松寿	森づくり活動	環境

※他にも年間通して様々なボランティア情報を発信しています。

About
COOPERATION
WITH
PARTNERS

学・産・官 連携プロジェクト

大学という枠を超えよう！
甲南大学ならではの地域連携

甲南大学は、地方自治体、コミュニティ、企業などと連携協定を結び、学・産・官が協力しあいながらの社会貢献活動を積極的に推進。
これにより、学生たちが参加できる地域活動の舞台がますます拡大しています。

関西湾岸SDGsチャレンジ



WHAT IS PROJECT

甲南大学 × 朝日新聞社 ×
神戸市・堺市・和歌山市・徳島市・岡山市



「関西湾岸SDGsチャレンジ」で
甲南大生が地域課題の解決に貢献。

この地球に暮らすすべての人々が平和と豊かさを享受できるよう、2015年に国連が掲げた「SDGs」という国際目標。甲南大学では早くからこの精神に賛同し、朝日新聞社とともに「関西湾岸SDGsチャレンジ」というプロジェクトを推進してきました。各地の自治体と連携して、持続可能な社会を実現するための提案に学生たちが取り組んできました。



甲南大学 × 神戸市



都市と農村を野菜でつなぐ

チームに示された課題は「神戸の『食』で人と人をつなごう」。ファーマーズマーケットに注目し、実際にマーケットを訪れインタビュー調査を実施。市内で農業が盛んな北区と西区には自転車道路が通っており「野菜×自転車＝健康&環境保護」と発想し、「ベジレーサー」の任命とSNSでの情報発信、スムージーなどの新商品の販売、廃棄される野菜を使ったアート作品の展示などの企画を提案した。

甲南大学 × 岡山市



若者の視点で
レトロな通りに人を呼ぶ

「高齢化が進む中、歴史的な町並みをどう残すか」という日本各地で頭を悩ます課題に対して、江戸時代に町屋による町並みが形成された「五福通り」における解決策を検討。商工会議所や地元住民などに取材をし、地元の若者に足を運んでもらい、コロナ禍でも多くの人に通りを知ってもらうために、通りを舞台にしたフォトコンテストをInstagramを使って実施した。

甲南大学 × 徳島市



遊んで「多様性」を学ぶ
空き倉庫の活用アイデア

使われなくなった貨物倉庫が並ぶ倉庫街を、子どもたちが遊びながら「多様性」について学ぶ場として活用することを提案。倉庫の広さを活かし、年齢や性別などに関係なく遊べるスペースを複数作り、自分の性自認について考えるイベントを開いたり、体と頭を同時に使うゲームを行うなど、違いを認め合い、思いやりが自然に身につく場所にしようと提案した。

甲南大学 × 堺市



行動に結びつけ
脱炭素へ「そっと後押し」

「脱炭素社会、そしてその先の生活を考える」という課題に挑戦。身近に感じにくいテーマを自分たちの行動に結びつける方法を探った。インタビューや調査の結果、辿り着いたのは「そっと後押しする」という考え方。環境に良いだけではなく他の関心事とも結びつけ、災害時にも役立つ携帯型太陽光パネルの貸し出しや省エネで買い物に使えるポイントが貯まる制度といったアイデアを提案した。



毎年高い評価を獲得している、
学生ならではの視点と発想。

2021年度の「関西湾岸SDGsチャレンジ」は、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市という5つの自治体の協力のもと、現地の高校生と甲南大生が協力して課題解決に挑戦。コロナ禍の影響を受け、対面での活動が制限される中、オンラインツールを活用し、作りあげた企画を各自自治体にプレゼンテーションしました。学生ならではの柔軟な視点や発想から生まれたアイデアには実現可能性の高いものも多く、各自自治体から高く評価されました。

甲南大学 × 和歌山市



家事や介護を担うヤングケアラーに寄り添う

公立中学2年、公立高校2年の約20人に1人が家族のケアをしているという調査結果を知り、家族の介護や家事を担う「ヤングケアラー」に必要なサポートを検討。中学教諭や支援センター担当者にヒアリングした結果、「子ども本人からの相談が少なく、当事者を発見しにくい」などの課題が明らかに。ヤングケアラーの理解を深めるための紙芝居を作成し、読み聞かせる授業を取り入れるといったアイデアを提案した。

01 PICK UP!
甲南大学 × 東京海上日動 × 神戸市

甲南大学と東京海上日動火災保険(株)・神戸市が
共同で中学生に「ぼうさい授業」を実施。

東京海上日動火災保険(株)のCSRの取り組みの一つである「ぼうさい授業」を、地元である神戸市立魚崎中学校の2年生を対象に実施しています。日ごろの備えや助け合いが災害時にも役立つことを伝えるため、災害時に実際に活躍される神戸市の職員にもアドバイスを受けながら、防災に関するワークショップを企画。2021年度は、「中学生ができること」をテーマに、普段から防災意識を高めることを目的とした『オリジナル防災ハンドブック』作りと、要配慮者に対してできることを考える『避難所体験ワーク』をオンラインで実施しました。



02 PICK UP!
甲南大学 × 加古川市

自治体や地元企業と連携しながら、
地域の課題解決策を公開プレゼン。

甲南大学と加古川市は2017年に包括連携協定を締結したことを機に、神戸新聞社の協力も得て「加古川「知」を結ぶプロジェクト」を共同で企画・運営しています。本企画は加古川市や市内企業・団体が抱えている課題について、本学の学生たちが調査・研究し、具体的な解決策を提案するものとなっており、その成果発表は加古川市内にて公開プレゼンテーションで行われます。学生たちによる斬新なアイディアは、多くの企業・団体から注目を集めています。
※2021年度は加古川市の行政課題に対して調査・研究を行い、オンラインツールを活用して成果発表を行いました。



03 PICK UP!
甲南大学 × 神戸新聞社

専門力と発信力の連携で、
経済や文化をさらに活性化。

甲南大学では、地元メディアである神戸新聞社と連携して地域貢献のさまざまな取り組みをおこなってきましたが、2016年の包括連携協定をきっかけにこの関係をさらに強化。神戸市内での取り組みだけでなく、2017年度からは神戸新聞社が手がける姫路市における地域プロジェクトにも協力。広く兵庫県内を舞台とし、協働で地域貢献活動をおこなっています。



04 PICK UP!
甲南大学 × 岡本商店街

地元商店街で、
人とまちのつながりを探る。

甲南大学と岡本商店街振興組合は、人材の育成とまちづくりの推進などを目的として「地域の連携協力に関する協定」を締結。地域振興を目的とした共同での商品開発やイベントの企画、商店街をフィールドとした調査研究などを実施しています。



05 PICK UP!
甲南大学 × 御影クラッセ

イベントや広報誌の企画で、
地域貢献に新たなカタチを。

阪神御影駅前にある商業施設「御影クラッセ」と連携し、甲南大生が主体となった活動<ACT>を展開。施設内でJAZZ研や軽音楽部のライブステージや、留学生によるハロウィンイベントなどを開催し、その活動を地域に発信するための広報誌「みかげの輪」も発行しています。学生たちの柔軟な視点や発想を生かした活動は、今後も地域に新たな活気をもたらしていきます。



About

KONAN PREMIER PROJECT

地域と繋がる活動助成金プロジェクト

学生たちのアイデア、 やる気を活かした地域貢献を推進

地域連携センターは、学生たちの自発的な活動も積極的にサポート。
KONANプレミアプロジェクトに「地域と繋がる活動助成金プロジェクト」があり、
助成金などのサポートを通じて活動を支援しています。

01

PICK UP!

課外活動団体ACT 光フェスティバル 2021 ～ ランタンの明かりで笑顔の輪を ～ [2021年度採択]

学外での広報活動やイベントを企画。 団体統括者として後輩をサポート。

甲南大学の課外活動団体「ACT地域広報グループ」に参加しています。
団体の活動のひとつ、甲南大学と御影クラスの共催イベント（ACT）を
紹介する広報誌「みかげの輪」の制作・発行に関わってきました。私たちが
昨年から取り組んでいるのが、地域と繋がる活動助成金プロジェクト
を利用したクリスマスイベント「光フェスティバル」です。コロナ禍により
不安の尽きない日々だからこそ、地域の方々に心温まるクリスマスを過ご
してほしい、という思いでスタートしました。メインイベントは、「ランタン×キャンドル
ナイト」で、近隣の幼稚園・保育園の園児たちにLEDキャンドルのランタン
を製作してもらい、御影クラスセ前の広場に展示。昨年は800個ほどでしたが、
今年は小学校にも協力いただき約1500個のランタンが集まりました。



文学部 社会学科 4年生
平田 純也さん

助成金申請のプレゼンや予算の使い方など、いい経験に。

御影にはだんじりがあり、独自の文化として地域に
浸透しています。そこで、今年は「だんじり」をテーマに、
ランタンをだんじりの形に配置し、「だんじりスタンプラ
リー」や、だんじりのミニチュアやはっぴの展示を行い
ました。ランタンを作った人たちだけでなく、多くの人が
展示に足を止めてくれたのがとても印象的で、地域の



方々に喜んでもらえたのかなと思います。今年は4年
生なので、私は団体統括者として後輩たちをサポート
する立場に。助成金の手続きなどは後輩が担当してく
れました。予算の使い方を考えたり、申請のプレゼン
をしたり、とてもいい経験になると思います。来年も活動
が継続できるよう、後輩に引き継いでいきます。



02

PICK UP!

つながりの輪 [2019年度採択]



法学部 法学科 2年生
上野 颯太さん

和太鼓演奏で障がい者と 健常者の距離を縮める。

わたしは和太鼓同好会「甲（きのえ）」に所属していま
すが、ここでは以前から「つながりの輪」という活動を
続けています。これは、障がいを持つ子も含めた小学生
たちに和太鼓を教えるという教室です。そもそも太鼓
というのは、叩けば音が鳴るというとてもシンプルな
楽器です。この特長を活かして、障がいに関係なく
子どもたちが触れあい、おたがいの距離を縮めてもら
おうというわけです。10数名以上の参加者が月2回
の練習をみんなでがんばり、最後にはわたしたちの
公演会で演奏。大勢の観客からいっばいの拍手を
もらう姿は堂々として、みな満足そうでした。わたしたち
も、おなじ目標に向かって努力してきた彼らの晴れ舞台
には感動し、だれもが手を差し伸べ、その手を取り
合える世の中になってほしいと強く感じさせられました。



助成金のおかげで広がっていく「つながりの輪」

この「つながりの輪」を継続するにあたって、大きな支えになってくれている
のが地域と繋がる活動助成金プロジェクトです。子どもたちのために和太
鼓の道具を新調したり、修理をするには費用がかかりますが、参加費などは
もらっていません。そこで今年も、伝統芸能である和太鼓のもつ魅力や、
子どもたちが協調性を養う上でいかに役立つかを一所懸命にプレゼンター

ションし、無事に助成金プロジェクトとして採択されました。おかげで、子ども
たちに新しいバチをプレゼントできたんです。これからも、おなじ目標をめざ
せば障がい者と健常者の“壁”なんかなくなると信じて、この活動を広げて
いきたいと思っています。

03

PICK UP!

ふれあいまつり2016 [2016年度採択]



心のこもった手づくりイベントで、 地域の子育てをサポート。

「ふれあいまつり2016 in 甲南大学」は、ダウン症の子どもたちと
その保護者の方々を岡本キャンパスに招待して開催されたイベ
ント。遊具からお菓子まで、すべてが学生の手づくりで、子どもたち
に外で遊ぶ機会を提供し、おなじ境遇の保護者同士のコミュニ
ケーションをサポートしました。

04

PICK UP!

歴らば 地図班篠山プロジェクト [2015年度採択]



篠山藩青山家に伝わった、 貴重な古文書を解明。

文学部歴史文化学科の学生と教員による「歴らば（歴史文化
らば）」。その地図班が、篠山市教育委員会の所蔵する「青山家
文書」の絵図を調査・整理しました。これにより17世紀後半の淀川
水系や大阪湾沿岸を描いたものなど、貴重な絵図の存在が判明。
郷土史研究の発展に寄与するという形で地域貢献をおこなって
います。

※学年は撮影時のものです。

About
**KONAN
CERTIFICATE**

KONANサーティフィケート

**学内外でボランティア活動に励む、
学生たちの努力を大学がしっかりと評価**

学生たちの自主的な努力や挑戦を評価するKONANサーティフィケート。
そのなかには、ボランティアサーティフィケートという部門があります。
ボランティアや地域活動を通じて社会で必要とされる知識・能力を身につけたことを認定し、
1級から3級までのサーティフィケートが授与されます。



授与される認定記念バッジは認定ごとに**3種類**



〔1級 ゴールド〕 〔2級 シルバー〕 〔3級 ブロンズ〕



LET'S
CHALLENGE!

地域連携プロジェクト

硯水プロジェクト

〔期間：2021年6月～12月〕

**甲南大学を選んだのは、
いろいろなボランティア活動ができるから。**

私がボランティアや地域連携活動に興味を持ったのは、
高校生の頃に熊本地震と岡山の西日本豪雨のボラン
ティア活動に参加したのがきっかけです。地元の方から
活動中にお礼を言われたり、高齢者の方と一緒にうちわ
を作って交換をした時に「宝物にする」と言ってもらったり、
それまで友達や家族との交流しかなかったので、ボラン
ティアを通じて人と交流をしていくことが楽しかったんです。
大学ではもっといろんな活動してみたいと思い、いろ

いろ調べて甲南大学がボランティア活動に積極的に
取り組んでいると知り、入学しました。学内外で活動を
行ってみたいと考え、学生と地域団体を繋げるボランティ
ア活動KORECの学生コーディネーター「なんティア」に
参加。他大学との交流会や学生とボランティア団体との
マッチングイベントを開催したり、地域連携チームの活動
として岡本商店街と「岡本散歩」を執筆したりしています。



文学部 社会学科 2年生
川村 美夢さん



**「宮水」をテーマにした記事を担当。
アウトプットの難しさを実感。**

「硯水プロジェクト」は、甲南大学のプロジェクトの一つで、灘
の酒文化に関する情報誌「硯水」を発刊しています。2年生で
地域連携プロジェクトに取り組んでみたいと考えたこと、また、
地元神戸の文化を知りたい、20歳になったのを機にお酒につ
いていろいろ学びたいと思い参加しました。白鶴の酒蔵で水
に興味湧いたことから、西宮の名水「宮水」に関する記事を
担当。進行から取材先への連絡なども、すべて自分でやって
います。頭で分かっている言葉にしたり、文章にしたりするの
が難しく、とても良い経験になっています。サーティフィケートは
今回初挑戦で、現在は2級にチャレンジ中。甲南にはさまざま
なプロジェクトがあり、授業では学べないことを実践で学ぶこと
ができます。こうした体験を将来に活かしていきたいです。



※学年は撮影時のものです。